

第二回 水族館大学 in 京都

イルカショーの 可能性と未来

水族館でイルカを飼育することの是非について、現在ほど活発に論じられたことはかつてなかった。欧米や動物愛護団体から投げかけられたのは、自然界のイルカを追い込み網で捕獲することへの非難であったが、それとともに高度な知能を持つ動物の閉鎖空間での飼育に対する批判も一部に噴出した。水族館に所属する人間は、飼育されたイルカが幸福ではないと一度も感じたこともないし、むしろ、市民の海の動物への興味を喚起するためには必要だと感じている。しかし、旧態依然としたイルカショーだけでは、国際社会や市民の理解を得るには、すでに限界にあると感じ始めている。今回は、水族館のイルカトレーナーのこだわりと本音、そして水族館の新たな取組、そして水族館のイルカを利用している大学の研究者にそれぞれの立場を話してもらい、今後、日本の水族館のイルカ飼育がどのように世界をリードしていくのかを話し合う予定である。

申込不要／入場無料

2017年2月24日(金) 10:00～18:00

京都大学理学部セミナーハウス

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

主催：京都大学野生動物研究センター

PROGRAM

挨拶 幸島司郎（京都大学野生動物研究センター） 10:00

事務連絡 注意事項 10:05

A 基調講演 「シャーフインの50年ーフィンの巻・イルカ屋のオシゴト」
沖縄美ら海水族館名誉館長 内田詮三 10:10

B 水族館でのイルカの飼育と見せ方 11:00

1 神戸市立須磨海浜水族園……樋口友香(須磨海浜水族園) 11:00 - 11:20

2 九十九島水族館海きらら……駒場昌幸(佐世保パールシー) 11:20 - 11:40

3 沖縄美ら海水族館(海洋博公園)……古賀壮太郎(沖縄美ら島財団) 11:40 - 12:00

4 名古屋港水族館……神田幸司(名古屋港水族館) 12:00 - 12:20

C イルカとヒトの新たな関係 13:30

5 神戸市立須磨水族園のイルカの海域飼育……古田圭介(須磨海浜水族園) 13:30 - 13:50

6 屋外水路を活用したイルカの飼育と市民の反応……佐々木章(かごしま水族館) 13:50 - 14:10

7 須磨水族園のイルカ介在活動……葛川沙織(須磨海浜水族園) 14:10 - 14:30

8 イルカは障害を持った子供を救えるか……門多真弥(京都女子大学) 14:30 - 14:50

D 水族館のイルカを対象とした行動学研究 15:00

9 森阪匡通(三重大学生物資源学部) 15:00 - 15:20

10 友永雅己(京都大学霊長類研究所) 15:20 - 15:40

11 幸島司郎(京都大学野生動物研究センター) 15:40 - 16:00

12 村山 司(東海大学海洋学部) 16:00 - 16:20

E 討論 水族館のイルカ飼育とショーのこれから 16:30

閉会 18:00

会場

京都大学理学部セミナーハウス
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

お問い合わせ先

京都大学野生動物研究センター 事務掛
担当：前川
maekawa.youko.8e@kyoto-u.ac.jp

